



# パートナー通信安曇野 第6号

2009.9.3

発行: NPO 法人信州ふるさとづくり応援団安曇野支部  
安曇野市穂高柏原 1132-2 (有) ライフポート安曇野内  
TEL : 0263-81-1325  
URL : <http://npo-furusato.way-nifty.com>

編集: 木船



## みみより情報① 「ふるさと回帰フェア 2009」に東京と大阪で参加します。

前回(6月6日、下写真)好評だった



「安曇野田舎暮らしセミナー」に続く移住支援第二弾。今回は東京だけでなく大阪でも参加します。

安曇野への移住を希望される方を

【場所】東京：早稲田大学 西早稲田キャンパス 10号館 302号室 大阪：梅田スカイビル 10階アウラホール【日時】東京 9月23日 大阪 9月12日 時間はいずれも 10:00~17:00  
<http://www.furusatokaiki.net/fair2009/>

支援するため、安曇野市の説明、当NPOの活動紹介、安曇野の不動産物件の特徴についての説明、その他個別相談会などを行います。

場所と日時は左の通りです。皆さんのお知り合いで安曇野への移住に関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えてあげてください。

## みみより情報② 「第7回ふるさとウォッチング in 安曇野」の概要決定！

第7回ふるさとウォッチング in 安曇野は、10月25日(日)に明科で行う予定です。詳細は次号で紹介。ご期待下さい。

## 報告(寄稿) 「百万人のキャンドルナイト in 安曇野」に協力参加しました。

### 「100万人のキャンドルナイト in 安曇野」ご来場ありがとうございました！

「100万人のキャンドルナイト」とは、環境省が2003年より行っている「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」と連動して行われる、キャンドルナイト実行委員会主催の全国イベントで、毎年夏至と冬至を中心に、「電気を消してスローな夜を…」みんなで楽しもうと行われています。



↑キャンドル台となる竹の切り出し。

→廃油でキャンドル作り。



の思いが寄せ

られ、共鳴し、広がっていく。「平和な気持ちでみんなに集まってもらいたい！」この秋から交流学习センターの建設工事が始まり、近代美術館の芝生広場は見られなくなります。「大好きな芝生広場



の様子。昼前まではかなりいい降りだった。



でキャンドルナイトをやりたい！」実行委員長(細萱由紀子)の強い願いと、熱い想いで、この企画ははじまりました。

キャンドルナイト当日は、朝からものすごい雨…。「願いは必ず通じる！」と信じていたけれど、本当にお昼過ぎ

に雨が上がって、晴れ間が覗いたときには、感動して涙が出てきました。でも、感動しているヒマはそこそこに、準備作業へと息つく間もなくなだれ込み…気がついたときには、もう点灯。税おおぜいのお客さまをお迎えし、感動の時間を過ごすことができました。

NPOふるさとづくり応援団のみなさんには、実行委員会にご参加いただき、手となり足となりお力を貸していただきました。ず～ず～しいおばさんパワー全開！ランタンのキャンドルを作ったり、キャンドルを飾る竹を切り出したり、丸太を運んだり、いろいろと並べたり、駐車場の整理や買出しまで…みなさんをこき使ってしまいました。今思い出すと、冷や汗ものです。みなさんが参加してくださらなければ、あの素敵な夜はなかったのでは…と、本当に感謝しております。次回(冬至)も、アイスキャンドルで素敵な時間を過ごすことを計画し始めているところです。また、ぜひご協力をお願いいたします。

こちらもぜひアクセスしてみてくださいね。

<http://blog.goo.ne.jp/candlelight-azumino> (100万人のキャンドルナイト in 安曇野のブログです。) 以上  
【寄稿者】キャンドルナイト事務局・田村恵子(ふるさとづくり応援団会員)



今回6月21日(日)夏至の日に、豊科近代美術館で安曇野市としては初開催となったキャンドルナイト。もちろん以前より個人のお宅やお店などでは、キャンドルナイトをされている方も多くいらっしゃると思います。またそれとは違って、みんなで集まって、一緒に…美しいキャンドルの灯りと過ごす、この平和で静かな時間が、日本中の「地球を思う」人々とつながれる時間と

## ルールコラム ⑤

《当 NPO の活動、安曇野などについて縦横に語ります。》今回は 細井正博

## 『農業の多面性について』

会社員であった 25 年ほど前、営業マンとして初めて持たされた担当地区がこの安曇地域でした。当時は何も無いところといった表現がぴったりで、車の通行量も少なく、食事をするところを見つけるのにも苦労したような覚えがあります。表面的には今でも大きくは変わらないのですが、広がる農地と堂々たる北アルプスとの静かなコントラスト。まさに安曇野であったと思いだされます。

それから 12~13 年の後、縁あって安曇野の住人となり、さらには会社を



辞めて農業を引き継ぐこととなったのです。農業のノ字も知らないしかもよそ者ではありますが、子供時代は田んぼの畦道が通学路。生きものや草花で遊び、稲刈り後は野球場そして冬はスケートと田んぼがある環境のなかで育って来ました。現代の田んぼといえば生き物たちは貧相で稲だけを作る場所となっている事がとても残念であり、そして、田んぼの畦で道草をする子供も見かけません。

農業をしていくなかで安全や美味しさよりもっと大切なことがあると学びました、それは農が作ってきた自然がど

れだけ豊かなもので大切かということです。

私は農産物を作るだけではない農業を目指し、有機農業の実践のなかで多くの生きものたちと共生できる田んぼづくりをしてまいりました。そして農業を始めて 10 年。有機米を使ったおにぎりを提供する「信州坊主ほのか」ができました。食と農の大切さを伝える場でもあり、サロンの利用など、パートナーの皆様をはじめ多くの方々にご利用いただきたいと願っております。

当 NPO のスタッフとしては新参者の私ですが、多くの方との出会いにとっても感謝しております、今後ともよろしくお祈りします。(細井)

ほそいまさひろ

## はじめまして ⑤

《「信州ふるさと作り応援団」のスタッフを紹介します。》こちらも 細井正博

水を一晚寝かせて“熟成”させると、その水の味が変わると分かる人は、一体巷にどのくらいいるのだろう。細井氏は昆布とカツオで蕎麦つゆ用の出汁をとる際、単なる水を一晚鍋にためて寝かすということを最近始めた。そうすると出汁の出が違うのだそうだ。

まじめで平凡な人といえば世の多数を占める良民のことを指す。柔和な細井正博氏も冗談一つ言わないまじめな人物だ。しかし平凡かと言えばそうではない。「納得する」次元が筆者には分からないくらい高く繊細なのだ。

本業の米作りにおいても、当 NPO で担当しているぬかどりの扱いにおいても、おそらくはかつてのサラリーマン時



代の仕事ぶりにおいてもしかり。氏が「極める」とつぶやいて着手したことについては、毛細血管の奥の奥まで行って行き止まりであることを確認して初めて納得するかの如く、徹底して研究するのだ。氏の作る完全無農薬米の如く、不純物ゼロの精神。いわば“完全無農薬人間”。そんな氏が打つと、外国産の蕎麦粉による 5 割蕎麦でさえ、奈川や戸隠などの名店に引けを取らないそば切りに仕上がってしまう。確認したい向きは「蕎麦処 信州坊主 (0263-72-6970)」までどうぞ。(木船)

## ふるさとを読む ④

《書評》田舎暮らし、安曇野に関わる図書へ当 NPO スタッフがご案内します。

坂本博著「信濃安曇族の謎を追う」(2003 年 近代文芸社刊 285P 定価 1,200 円)

## 『安曇族の起源に迫る謎解きの楽しみ』

旧穂高町近辺では安曇族にまつわる話をよく耳にする。だから、穂高神社境内に立つ彫りの深い顔立ちの武将・阿曇比羅夫の銅像を見て、これこそ信濃安曇族の元祖に違いないと信じる向きが多い。

しかし、坂本氏によれば、それは間違いだ。安曇族には二系統があり、阿曇比羅夫は、古代にこの地域を支配していた安曇族とは別の系統に属するというのだ。

坂本氏は、北安曇郡の住民が普段食べているエゴ(海藻の練り食品、イゴ、イゴノリとも)が筑前博多ではオキユウトという名前がよく食べられていることに注目する。遠く離れた両地域で同一食品が日常的に食べられているのは何故か——坂本氏はこの謎を解く鍵を福岡県北部に見いだす。古代にはここ(現在の福岡県糟屋郡新宮町付近)は阿曇郡と呼ばれていた。その近辺を本拠地とし、水運業に従事していた海人の一族・阿曇族が故郷を離れ、日本海岸沿いに北上して 6 世紀半ばに現在の北安曇郡付近に住み着いたというのが坂

本氏の説である。エゴは彼らの置き土産だというのだ。

さらに、何故阿曇族が安曇族になったのか、彼らが故郷を捨てた理由は? 北安曇郡での本拠地はどこだったのか、八面大王伝説との関わりは? 阿曇比羅夫の系統とは? ——坂本氏はこれらの謎を一つ一つ解きほぐしていく。西洋科学史・科学哲学を専門とする坂本氏は、確認される事実を手がかりに合理的推定を積み重ねていく。謎解きの楽しみを味わいながら遠く古代に思いを馳せるのも時にはいいものだ。(鈴木)

